

春の大セミナー 2018

-5th D table 1 総評-



member

角田 (明学 3) ・ 弟子丸 (青学 3) ・ 見目 (早稲田 3) ・ 川名 (成蹊 3) ・ 乾 (立教 3) ・ 山本 (早稲田 3)

文責：貝瀬 (武蔵 4)

山田 (武蔵 4)

1. 議論の流れ 2. 個人総評 3. コメント

1. 議論の流れ 文責：貝瀬

本章では議論の大まかな流れを追います。我々ジャッジの解釈とテーブルメンバーの解釈にはズレがあるかもしれませんがその点をご容赦下さい。

-ASQ-

乾の、体罰を禁止するというオピニオンシートを元に議論が展開された。ASQ では基本的に山本、見目による乾のコンパリゾンアイデアを見越したQが行われ、SQの乾の考えたProblemやHarmに対する質問はほとんどなかった。そこに弟子丸がコンパリゾンに関するQはコンパリゾンであるべきであると議論の焦点を絞り、話を先に進めようとしたが、角田、山本、見目を納得させることができず、そのままASQでのコンパリゾンに関する話は続いた。そしてみんなが満足に自分の話を終えた後NFCに移動した。

-NFC-

NFCでは見目のアイデアが展開された。見目の意見は議論を展開する上で重要なのはTGのMSであり、一貫してMSの話をするべきであるというものだった。しかしOPである乾の提示したコンパリアイデアはTGコンパリだけであり、それでは最終的にMSについての議論がなされないため、現時点でMSを元にしたオピニオンシートを検証する必要がないためstopdisをしようというアイデアであった。それに対して、角田、乾、山本によって見目は総じて何がしたいのか、またオピニオンシートで確認すべきことは何なのか、コンパリゾンで展開される議論、それによる結論は何であるべきなのかを確認していた。その間川名が号泣するという事件によりディスカッションは一時中断したが角田の心優しい発言や、見目のアポイントシステムの導入によりディスカッションは再開されたが、見目のみアポイントメントは適応されていなかった。その後、見目がNFCをunclearとし、QLコンパリだけで結論を得ようという提案に変更し、山本がそれまでの話をまとめ、1時間行われた見目のアイデアは収束された。結論としてこの見目の提案が議論にどう影響を与えたかは定かではないが、見目は満足していたであろう。

-PLAN-

APA ではまたしても乾の意見を汲み取ろうという発言はなくコンパリゾンに移行するかと思われた瞬間、それまで眠気と戦っていた弟子丸が思い出したかのように提示した sol の 3rd link に対するアイデアが話された。

弟子丸のアイデアは CP に対する政策をとった時に CP による被害を減少させることができる可能性がある反面、CP によって抑制されていたであろういじめが増加する可能性があるため、これでは get AD とは言えないというものだった。要するに AD も DA も possi の話だから結論は得られないというものである。このアイデアに対し山本の介入を軸とし、川名、角田、山本がアイデアに対する議論の方法を提示したところでディスカッションが終了した。

2. 個人総評 文責：山田

1 位 山本（早稲田 3）

今回のテーブルで一番時間を要した見目君のアイデアを最終的に収束させた事、弟子丸君のアイデアに対する積極的な介入を評価しこの順位とした。役割は角田君と似ていた部分が多かったが、最後まで粘り強く挑んだ事が勝敗を分けた。そういう意味ではこのテーブルにおいて誰よりも勝ちにこだわる姿勢を大いに感じた。今後は介入量を増やし常にテーブルの中心にいれるよう努めると共に、行動に移せるよう取り組んでほしい。

2 位 乾（立教 3）

オピニオンプレゼンターとして議論の土台を作ったこと、比較的全ての QC やアイデアへの介入を行っていた事を評価しこの順位とした。逆に言えば全ての話に対して中心になれなかった事が 1 位との差と言える。また、ある段階からやる気を無くしていたように見え、それ以降介入が減った事も敗因といえる。今後は誰が相手でも屈しない精神と予期せぬ事態が起きても動じない力をつけて欲しい。

3 位 角田（明学 3）

各アイデアに対してのトリートの役割を担い、更にテーブルにおける圧倒的オーソリティを所持しており、終始テーブルの先頭に立っていた事を評価しこの順位とした。しかし乾さんと同様に優しい心が裏目に出てしまい、結果的には山本さんを1位に押し上げてしまう事になった。今後はその存在感を武器に、自分で話を収束させきる力と投げ出さない心を持ってディスカッションに取り組んでほしい。

4位 見目（早稲田3）

今回のディスカッションにおいて最も時間を使った NFC アイデアの提示とオピニオンプレゼンターのアイデアを深掘る Q を評価しこの順位とした。短い時間の中でアイデアを議論にどう影響させるかを考え、柔軟に振舞う事が出来れば順位は変わっていただろう。今後はその独特の介入方法と誰にも動じない力を武器に、自己のスタイルを形成しいつでもパフォーマンス出来るよう努めてほしい。

5位 弟子丸（青学3）

ソリューションの 3rdlink へのオブジェクションを提示した事を評価しこの順位とした。しかしこのアイデアもきちんと最後まで検証する事が出来ず、またディスカッション最中は基本的に存在感が無かった。今後はどんなテーブルでも自分自身の役割を見つけ、存在感を増していけるよう努めてほしい。

6位 川名（成蹊3）

時折見せた Q やアイデアに対する S を評価しこの順位とした。しかし介入は限定的であり、また議論に与える影響が高くなかった事は否めない。今後は自分の話の必要性をどう伝えるかを考え、自身の土俵できちんと話せるよう努めてほしい。

3. コメント

おつかれさまです。仲がいいのか悪いのかわからないって感じのテーブルでしたね。まあ、5th D テにいるっていう事実がある以上君たちのディスのレベルをどうこう言うつもりはありません。だから今回のこのテーブルはみんな調子が悪かったってことですかね。僕はテーブルが始まる前に「このディスが総評に載るわけだから恥ずかしくないディスをしてね」って言ったと思うんだけどそれができていたかどうかはこの総評を見て判断してね。僕の目に写っていたことをできるだけありのまま書いたつもりだから。でも最後の春セミでこのテーブルをみれたことは結果的に良かったかなって思います。別の意味で面白かったから。疲れることなく笑って終えられたおかげで3日目も元気でいれました。本当にありがとう。

最後にこれからアッセンもあり、その後は、おそらくチェアパとしてディス界で生きていくと思うけど、今のこのランクに恥じないよう、僕たちにそのランクをあげたことを後悔させないよう精一杯努力してください。 **貝瀬 (武蔵 4)**

お疲れ様でした。終始楽しませてもらったテーブルでした。たけしは泣くわ、弟子丸は寝るわ、見目はアポイントメント制度作って一人だけ適応されないわと、盛沢山でしたね。ただ、僕がよく噂で聞く5thD テーブルと印象は違い、弟子丸以外は1位を取りに行く姿勢を感じたしそれなりに熱いテーブルになっていたと思います。だからこそ、前半飛び交っていたコンパリの話や見目君のアイデアのその先を見れなかった事は非常に残念でした。今回のテーブルで納得がいかなかった人はアッセンこそきちんと自分の力を出し切れるように頑張ってください。目標にしてる場所はそんなに遠くないと思いますよ。これからの活躍も期待しています。 **山田 (武蔵 4)**